

豊作祈り雨乞い行事

にかほ市の冬師湿原の近くにある「大瀧ため池」で21日、恒例の雨乞い行事が行われた。由利本荘、にかほ両市の農業や行政関係者ら約60人が参加。水神である竜の好物とされる卵をため池に投げ入れるなどして、安定した降雨と豊作を祈願した。

竜の好物、卵投げ入れ

にかほ・大瀧ため池



湧水が心配される真夏を前に、両市の土地改良区や両市を管轄するJA秋田しんせい、由利本荘市の関係者らが毎年実施している。

ため池の近くには「龍馬山奥院」と彫られた石碑があり、ため池にすむ竜を祭っているとされている。竜は元々、由利本荘市西目地域の瀧にすんでいたという。

西目町史には1828(文政11)年から、開田のため瀧の干拓が始まったと記載されている。地域の言い伝えでは、この

石碑の前で手を合わせ、安定した降雨や豊作を祈願する参加者

瀧にすんでいかに失って、に移ったとされる雨乞いの行事(江戸後期以降)だったという。仙台管区気

県央

秋田市

体験ゲーム通じ 防災意識高める

御所野でイベント

親子で災害時の行動について考えるイベントがこのほど、秋田市御所野のイオンモール秋田で開かれた。子どもたちが体験ゲームを通じ、災害に備えることの大切さを学

んだ。公益財団法人ボイスカウト日本連盟とイオンモールの主催。楽しみながら防災意識を高めてもらおうと、全国各地で昨年度から実施している「全国防災キャラバン」の一環。

子どもたちは、災害時のさまざまな場面を体験できるゲームに挑戦。水や懐中電灯、ロープなどの中から避難時に必要なと思う物を選び、リュックサックに詰め込みスタート。壁が倒れてくる際の感覚を発泡スチロールのブロックで学ぶコーナーや、板の下敷きになっている人形を、ジャッキを使って助けるコーナーなどを巡った。ボイスカウト団員の説明を聞き、笑顔でゲームを楽しんだ。

このほか、手回し発電機でおもちゃの電車を動かしたり、心臓マッサージの仕方を教わったりしていた。家族で訪れた秋田市広面の



避難時に必要な物をリュックに詰め込む子どもたち

武部そらちゃん(5)は「必要だと思った物をリュックに入れ過ぎて重くて大変だった。人形を助けるのは楽しかった」と話した。(斎藤稜)

秋大付小6年生 軟こう作りに挑戦 科学的思考法を学 本県初、製薬会社が 児童に科学への関心を てもらおう「サイエンス・ ール」がこのほど、秋田

